

5年

神戸新聞社の武藤さんのお話を聞いて、僕は大事なことから書いていく逆三角形を使って新聞を作っていきたいです。そのほかにもアドバイスをいただいた段落にも気を付けたいです。八鹿豚の新聞を作るときはNIEの時に教えていただいた「いろんな人が読むことを意識して書く」ということや「10行おきに段落分けする」ことなど意識して自然学校新聞をもっとより良い新聞にしたいです。

5年

僕は、武藤さんに自分が作った新聞を見てもらい新聞のいいところとアドバイスをもらいました。まず、僕の新聞のどこがいいのかを教えてくださいました。僕の新聞のいいところは、新聞の中身が細かくかけていると言われました。次に新聞のアドバイスでは段落分けがあまりできていないので10行ずつ段落分けしたらいいと教えてくださいました。だから、これからは新聞をかくときにこの言われたことをちゃんと守って新聞を作りたいです。

6年

NIEの授業で一番心に残ったことは、新聞作りのアドバイスをしてくれたことです。一人一人アドバイスしてくれてわかりやすかったです。例えば僕だったら、写真をトリミングして大きくはったらいいというアドバイスや、もっと段落を分けるといいなどのアドバイスをもらいました。武藤さんにもらったアドバイスを次の新聞作りにも活かしてもっといい新聞を作りたいです。

6年

僕は、武藤さんから記事の文末表現が「〇〇だったそうです。」が多いと指摘され、「実際に聞いたことは自信をもって書いたらいいよ。」というアドバイスをもらいました。新聞を見返すと「〇〇だったそうです。」が多かったです。今後新聞を書くときは、実際に見たり聞いたりしたことは自信をもって「〇〇だったそうです。」ではなく、「〇〇です。」のように書いていきたいです。

6年

武藤さんのアドバイスを受けて、ぼくは「すごい」などの言葉を多く使っていたことに気づきました。NGワードを決めて書くことを教えて貰いました。他にも、段落をだいたい10行書いたら空けることや大事なことから書いていく逆三角形のやり方ですることなど知りました。次、書くときはアドバイスされたことをしっかり守って、記事を書きたいです。

6年

新聞作りのアドバイスを武藤さんから聞きました。新聞は少しでも長さなど事実を間違えると分からなくなるので、記事を書き終わったらきちんと見直しをしたいと思います。よく句点「、」を打つことがあるのでアドバイスで言われた通り書き終わったら一度自分が声に出して読んでみて変だなと思ったら「、」を消して読みやすくしていきたいです。見出しは、「平和の願い」などにしたら「平和の願いとは？」と問いになってしまうので、「平和を守るのは僕たち」などにして平和を守るのは僕たちですと答えになるように見出しを書くということを教えてくださいました。武藤さんの話を聞いて次の新聞作りに活かしていきたいです。